

《令和5年度 児童発達支援つくし園に関する報告》

1. 発達支援について

・5年度の4月は46名からスタートし、3月末では計69名の登録となった。親子療育からの利用開始は継続し、活動や親子療育後の面談を通じて利用児の現状やどのような力を育てるための支援をするのか等を保護者と共有するように努めた。

・親子での活動に取り組み、様子を伝えつつ保護者と振り返りを行うことで、利用児の良いところ、課題に感じているところについて共有出来ている。また、単独療育に移行されたクラスに関しても、年2回親子療育を行い、当日の様子を観ていただくと共に、日頃の療育の取り組みを具体的に伝えることが出来た。

・昨年度からの市の遊びの教室に職員を研修も兼ねて派遣することで、今後療育に繋がるお子さんや保護者との関係作りを行うことができ、安心できる形で療育への利用に繋がられた。

・保護者との関わりについては、療育の様子等職員が保護者へ対面で様子を報告することの必要性を伝え、面談を働きかけたり、バスを利用している家庭に関しても送迎を可能な限りお願いする等、直接伝えられる機会づくりに繋がった。対面のやり取りが出来ない時にも、写真を添えた連絡ノートや電話連絡による報告、相談時の同席の場等により、利用児の取組む様子や、支援内容について保護者と細かく共有できるよう働きかけた。

2. 関係機関との連携について

・関係機関との連携においては、市の相談事業や医療機関受診の同席をはじめ、個々に関係機関と連携を行った。

・今年度の上半期に全ての並行通園先に出向き、利用児の様子を参観し、各園所との情報交換の場を持った。各園所での大きい集団とつくし園での小集団の様子を照らし合わせながら、療育でどのような経験を積みばいいのかを再確認する機会となり、日々の支援計画や療育での関わりに反映させることが出来た。また、昨年度から継続して行うことで、各園所と顔の見える関係性が少しずつ出来つつあり、参観以外での電話による連携、連絡ノートの共有など、利用児について情報共有できる場が増えた。五者面談においてもあらかじめ並行通園先と面談の目的を共有する機会を持ち、活動の設定等の協力を得て、行うことが出来た。

・就学に向けての情報発信会として、就学先の選択に関わる情報や、児童が利用する可能性のある保護者の就労支援、障がい児福祉サービスについて、社会教育課・社会福祉課・各放課後等デイサービスの協力のもと、利用目的や必要な手続き、事業所の紹介等の情報発信を行った。今年度も、就学後に途切れることなく支援ができる体制を整えておくため、社会福祉課と連携を図った。

3. 事業所運営について

・利用児の課題や保護者のニーズに適切に対応していくための職員育成に関しては昨年度同様、半期はケース検討やビデオによる振り返り等、定期的な内部研修を行った。同時に子育て発達支援センターの協力を得て学習会の開催・療育への助言や、外部機関の研修会に参加する等により、職員の学びの場の確保に努めた。現場レベルでの対応力の向上や、各連携等に対応できる職員の増加等、少しずつ幅を拡げている段階である。

・事業運営の面では制度に基づいた計画の策定、研修の実施を定期的に行った。また児童発達支援事業の指定更新や、2月には6年に1度の実地指導を受け、文書による改善を求められる事項等もなく、適正な事業運営がなされていると報告された。

通所の状況・活動の状況等

(1) 通所状況

年度	登録児数	利用実人数	延べ利用数	1日平均
R4年度	67人	67人	2,049人	8.9人
R5年度	69人	68人	2,113人	9.1人

(2) 送迎利用児状況

年度	療育支援輸送事業(人)					つくし園送迎(人)				
	園部	八木	日吉	美山	合計	園部	八木	日吉	美山	合計
R4年度	12	2	1	5	20	3	1	0	0	4
R5年度	13	5	4	4	26	4	1	0	2	7

(3) 主な活動状況

開催日	内 容	場 所
5月16日 5月17日 5月19日 5月23日 5月24日 5月30日 6月8日 6月1日 6月12日 6月15日 6月19日	並行通園先訪問連携 みやまこども園 ひよしこども園 城南保育所 聖家族幼稚園 八木東幼児学園 八木中央幼児学園 園部保育所 園部幼稚園 南丹のぞみ園 胡麻保育所	各並行通園先
6月26日～ 7月7日 (水曜日除く8日間)	親子療育・参観	つくし園 ぶどうルーム
6月9日	第1回情報発信事業 ぶどうの木 菅生先生との懇談会 保護者17名参加	旧川辺小学校 ランチルーム
7月12日	第2回情報発信事業 つくし園保護者OBとの懇談会 ・保護者12名参加	旧川辺小学校 ランチルーム
10月27日	第3回情報発信事業 放課後の過ごし方 協力機関 南丹市社会福祉課 南丹市社会教育課 ぶどうの木(ぶどう畑) わいわいプラス園部教室 はびねすデイサービスセンター よつば 保護者13名参加	旧川辺小学校 ランチルーム

11月 6日～10日 (水曜日除く4日間)	年長児外出活動（往復） 船岡駅発（電車）⇄ 園部駅 ⇄ 亀岡駅 ※コロナ感染拡大予防のため 外出活動の参加の有無を事前に保護者に確認 年中児・年長児対象を年長児のみに変更。	亀岡駅前 かめきたサンガ広場 サンガスタジアム
1月15日～19日 2月 5日～ 9日	旧川辺小学校教室利用学習 ・旧校舎を借用し、学校の教室を探検する ・就学に向けて学校での授業の雰囲気を知る ・筆箱、下敷き等の学習に使用する道具を扱う	川辺地域活性化センター（旧川辺小学校）
2月26日～ 3月 8日	親子療育・参観 ・療育での子どもの様子の共有	つくし園 ぶどうルーム

（４）会議の状況

開催日	内 容	場 所
4月 3日 4月27日 5月17日 6月22日 7月31日 8月15日 9月 6日 9月20日 11月10日 12月28日 1月24日 2月 7日 3月29日	職員会議 ・行事の確認・体制等の確認 ・各関係機関との連携報告 ・利用児に関する職員間の情報共有	つくし園 職員室
療育利用希望者に応じて連携	療育連携会議（社会福祉課・保健医療課・つくし園）	子育て発達支援センター
5月26日	南丹市子育て発達支援センター 運営委員会	市役所4号庁舎
9月 1日	後期療育連携会議 （社会福祉課・保健医療課・つくし園）	子育て発達支援センター
11月22日	就学後の支援についての連携会議 （社会福祉課・つくし園）	子育て発達支援センター
3月14日	次年度に向けての療育連携会議	子育て発達支援センター

(5) 主な職員研修

開催日	内 容	参加
4月4日	福祉有償運送講習	1名
4月4日	南丹市社協新任基礎研修	1名
4月 6日 4月13日 4月20日 5月11日 6月20日 7月 6日 8月17日 12月 6日	職員内部研修 ・制度理解、虐待防止、感染症対策、ビデオによる 振り返り、事例検討等	延べ65名
5月18日 6月22日 10月 5日	南丹市作業療法士による勉強会 リスクマネジメント研修 アドバイザー：南丹市子育て発達支援センター職員 救命救急講習会	9名 9名 7名
4月～3月までの期間隔週で参加 合計22回	実践研修（こぐまっこ）	1人
5月20日	子どもの自己肯定感を高めるには（ZOOM）	3名
5月31日 6月14日	京都府社協新任職員研修	1名
6月29日	教育と保育のための発達診断セミナー（ZOOM）	7名
7月30日	発達障害に関する専門職研修	1名
8月 4日 ～ 8月31日	京都府相談支援従事者（初任者）3日コース（ZOOM）	1名
8月24日 8月25日	京都府サービス管理責任者等基礎研修	1名
10月 4日	南丹市社協新任職員フォローアップ研修	2名
11月16日	発達障害児はぐくみ事業研修 発達に支援の必要なお子さんの保護者支援について	6名
11月28日	雇用管理責任者講習	1名
1月12日	法人内虐待防止研修	8名
1月15日	南丹市教育支援委員会研修会	1名
2月25日	発達保障を目指す保育実践研修	4名
3月17日	姫路独協大学のびのびセミナー	1名